

福島県立医大附属病院 脳神経外科からのお知らせ

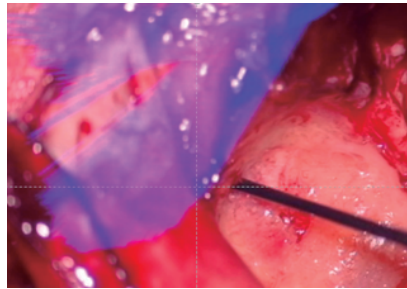
脳腫瘍が疑われる患者さんがありましたら、どうぞお気軽に直接ご紹介ください。
福島県立医科大学脳神経外科では、脳腫瘍分野を大学病院が担うべき中心的な領域と位置付けて、県民に最高の医療を提供するべく、特に力を入れて診療にあたっております。

脳腫瘍、特に原発性脳腫瘍は人口10万人あたり20人弱と稀な疾患です。小児から成人まで、組織型は100種類以上と多岐にわたり、診断・治療の両面で高い専門性が求められます。特に近年は、術中MRI・手術ナビゲーションを併用した画像誘導手術、言語機能を含め高次脳機能を温存する覚醒下手術、内視鏡を用いた低侵襲手術、高度な術中神経モニタリングなど、手術とその周辺技術の進歩には目覚ましいものがあります。加えて、分子診断、分子標的治療、さらには、脳腫瘍に特化したユニークな治療法が複数登場するなど、診断・治療両面で、従前と大きく様変わりしております。従来から、小児腫瘍内科・放射線治療科など脳腫瘍の治療に直接関わる診療科、また耳鼻咽喉科、眼科との密な連携が必要不可欠で、総合力も求められます。

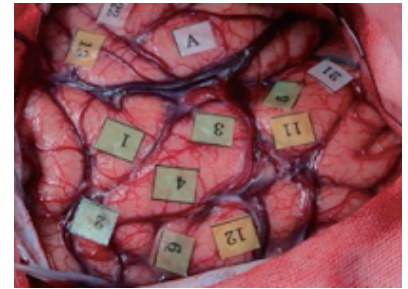
福島県立医科大学は、全国でも5指に入る超高磁場術中MRIを備えた高機能手術室が整備され、手術の有効性と安全性両面で威力を発揮しております。脳腫瘍を疑う画像所見が見られる場合はもちろんのこと、症状や所見で疑われる段階でも構いません。当院にて診断含め対応を致しますのでお気軽にご紹介ください。また、しばしば迅速な対応が必要な症例がございますので、その場合、当院の脳疾患センター／救急外来まで直接お電話をいただければ、直ちに対応をいたします。希少性・専門性の高いこの病気を抱える県内の患者に、1人でも多く質の高い診療を届けたいと懸命に取り組んでおります。どうぞよろしくご協力のほどお願いいたします。



術中MRIを備えた手術室(左)



手術顕微鏡映像(中央)



覚醒下手術の術野(右)

手術室に超高磁場術中MRI装置が備えられており、手術中に脳の状態を評価することができる(左図)。さらに、ナビゲーションシステムと連動することで、脳神経外科医が見る手術顕微鏡映像の中に、重要な脳解剖構造や病変などが表示されるAR機能が搭載されている(中央)。術野(右図)におかれた数字のタグは、電気刺激によって何らかの所見が認められた部位。

福島県立医科大学附属病院 脳神経外科

〒960-1295 福島市光が丘1番地

通常の外来予約

患者サポートセンター
024-547-1074

平日／9:00～19:00
土曜／9:00～12:00

お急ぎの相談の場合

脳疾患センター 高度救命救急センター
024-547-1218 024-547-1262

365日24時間受付

患者さんを紹介する前に

メールにてご相談を
希望される場合

fmubraintumor@gmail.com

